

郷土資料館展示資料

(その1)

舶来ストーブ

現在、郷土資料館玄関わきの土間に展示されている大鑄造の舶来ストーブ（組立式、全長2.60メートル）は、採暖専用の貯炭式で、炊事はできないが、ストーブの周囲に施した精巧細緻な花模様、人、獣それぞれの顔の浮き彫りなど、実に見事である。正面の透かし彫りもまた、見る人の眼を堪能させるものである。

明治以来、すでに文明諸国では、冬期間このような暖炉を焚いて、常に室内を暖めていたのであった。

ストーブの経路は、船場町8番地（現在の末広町14番、両倉庫付近）に住んでいたドイツ人シュリューター氏が、本国から運び使用したものというが、製造国は明らかでない。

シュリューター氏は、明治15年の夏に流行したコレラに感染して死亡、その後住宅は外人専用の洋食店「養和軒」と変わり、さらに明治22・3年頃、渡辺孝平氏（初代熊四郎）が譲り受けて、湯の川の別荘に移したが、建物の損傷甚しくなり、昭和52年の春、遂に解体された。

4基のストーブは、別荘時代に若山徳次郎氏の元に移り、その中で最も優れたこのストーブ1基が、昭和45年12月函館市に寄贈されたものである。



市立函館博物館沿革史 (その10)

〈開拓使函館支庁仮博物館〉(3)

前回函館新聞の明治11年8月6日付、第53号の記事を紹介し、英国の有名な地震学者、ジョン・ミルンが開拓使で北千島巡視の井深基八等属と同行したことに触れた。ミルンの北千島行は彼が翌12年英文で発表した「千島列島の火山について」、また明治15年発表の論文には、明治11年に北千島の占守島に上陸し千島アイヌに接したことを明示している。しかし、わが国の新聞および千島アイヌの研究書ではこの二人が同時に北千島まで行ったことに触れたことはないようである。

明治11年9月10日付、第70号の函館新聞には井深基氏が帰函し、写真家井田孝吉氏が、現地の悪天候により充分活躍できなかったがある程度の写真を撮ったことを報じている。幸いこの時の写真は現在北海道大学の北方資料室に数枚保存されている。特に占守島で陸揚げした物資の前で写した千島アイヌと開拓使の人々の記念写真は有名で今まで縮小され何度か発表された。彼らの後方に小さく1人の外人らしい人物が写っているが、当時この人物はあまり問題にされなかった。

数年前札幌在住の小島家より寄託を受けた古い写真の中に、北海道大学所蔵と同じ写真があったので北海道新聞社



北千島占守島におけるジョン・ミルン(28才ころ)
明治11年井田幸吉氏写

写真部の渋谷記者にこの外人の部分拡大してもらい、現在ジョン・ミルンの関係者でミルンの研究者である早稲田大学名誉教授明石信道氏がこの写真をみて若き日のミルンの姿であることを確認してくれた。

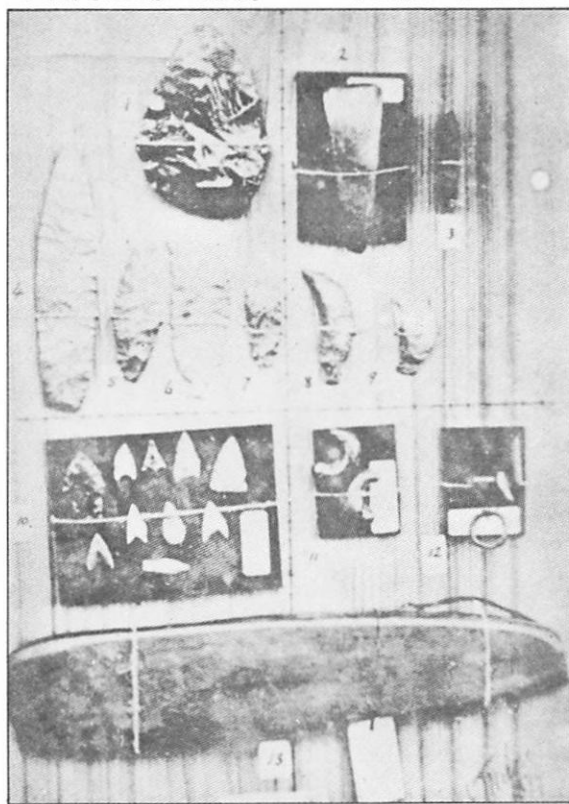
ミルンと函館との関係は、願乗寺(本願寺派函

館別院)の住職であった堀川乗経の娘、とねと結婚したこと以外に、明治11年の在函中は蝦夷の歴史に興味を持って石器時代の研究を行なってきた。造園中であった函館公園用地から石器、土器を採集したり、開館準備で収集されていた仮博物館の考古学資料を調べて、翌12年には論文をアジア協会の雑誌に英文で発表している。この論文の「小樽、函館の石器考」では、ブラキストンが博物館に寄贈した函館公園出土の大型石斧など出土品の写真を掲載し、当時の開拓使函館支庁仮博物館をHakodate Museumと書いている。この記述は外国人によって函館の博物館が初めて欧米で紹介されたものである。

〈学芸係長 姫野英夫〉



ジョン・ミルン(30才ころ)



旧開拓使函館博物館における展示準備中の考古学資料
(最上部写真がブラキストン寄贈の石斧)

博物館日誌抄 (53.1.1~53.12.31)

53. 1. 4 御用始め
- 26 白老町社会教育委員 6 名、運営状況視察のため
来函
53. 2. 14 ヒナ人形展 (～3月12日まで)
- 18 市民講座(植物研究会)
講師村田孝、乳井幸教氏
53. 3. 4 博物館協議会開催
- 16 スウェーデン民俗博物館グスタフソン氏資料保
存研究のため来函
53. 4. 15 市民講座(植物研究会)
講師宗像英雄、乳井幸教氏
- 16 第4回日本海文化展準備のため休館 (～4月30
日まで)
- 23 市民講座(松前町郷土資料館見学会)
講師久保 泰、永田富智氏
53. 5. 1 第4回日本海文化展開催 (～6月30日まで)
- 5 市民講座(特別講演会)
講師須藤隆仙、常田英男氏
- 6 科学教室(春の星座) 講師津川軍次郎氏
- 19 旭川市池上市民部長、利尻島郷土資料館桜庭運
営委員、運営状況視察のため来函
- 20 市民講座(植物研究会)
講師宗像和彦、南条弘道氏
- ・ 国立文化財研究所樋口研究室長、旧水産館等の調
査のため来函
- 21 文化庁五味文部技官、旧水産館の改築調査のた
め来函
- 24 熊石町新木議員外8名、運営状況視察のため来函
- 25 士別市豊田公民館長外21名館内見学
- 26 北海道議会小林図書室長視察のため来函
53. 5. 29 春日部市竹村清議員外9名、運営状況視察のた
め来函
53. 6. 2 長崎市越中哲也博物館長、特別展出品状況調査
のため来函
- 3 科学教室(植物野外視察会) 講師宗像和彦氏
- 9 埼玉県宮田県議員外17名、運営状況視察のた
め来函
- 10 科学教室(プラネタリウム見学会) 講師津川軍
次郎氏
- 11 市民講座(神山の石仏を訪ねて) 講師会田金吾氏
- 17 市民講座(植物研究会)
講師工藤光信、林勝也氏
53. 7. 6 国立歴史民族博物館井上光貞準備室長、民俗資
料調査のため来函
- 7 科学教室(夏の星座) 講師津川軍次郎氏
- 15 市民講座(植物研究会) 講師村田孝、乳井幸教氏
- ・ 幕末銃砲の変遷展準備のため休館、(～7月24日
まで)
- 25 幕末銃砲の変遷展 (～8月18日まで)
53. 8. 2 科学教室(昆虫野外観察会) 講師中島康二氏
- 6 科学教室(昆虫野外観察会) 講師中島康二氏
- 26 科学教室(秋の星座) 講師津川軍次郎氏
53. 9. 2 衣生活研究会岡村吉右エ門氏、民俗資料調査の
ため来函
- 9 市民講座(植物研究会) 講師宗像英雄氏
- 17 科学教室(中秋の名月と月食) 講師津川軍次郎氏
- 26 北海道大学池上二良教授、北海道教育庁倉谷一
男文化財係長、オロッコ資料調査のため来函
- 21 北海道教育委員会安藤鉄夫委員長、視察のため
来函
- 29 浜松市天野知明美術館長、運営状況視察のため
来函
53. 10. 1 資料曝涼のため休館 (～15日まで)
- 12 室蘭市教育委員会文化審議会委員、博物館建設
調査のため来函
- 18 寿都町若狭守教育長外6名、運営状況調査のた
め来函
- 21 市民講座(植物研究会)
講師宗像和彦、工藤光信氏
- ・ 科学教室(冬の星座) 講師津川軍次郎氏
- 22 科学教室(昆虫飼養と講演会)
講師中島康二氏、昆虫同好会
- 25 青函交流婦人視察団30名館内見学
53. 11. 5 市民講座(史跡、文化財見学会)
講師川嶋龍司、厨川勇氏
- 18 登別市文化協会大山吉次会長外25名博物館建設
調査のため来函
- ・ 市民講座(植物研究会)
講師林勝也、乳井幸教氏
- ・ 北海道教育庁安達整文化課長、オロッコ資料視
察のため来函
53. 12. 9 市民講座(植物研究会)
講師宗像英雄、村田孝氏
- 24 館内茶室設計者加倉井昭夫武蔵大教授調査のた
め来函

最近受入れた資料

高田屋嘉兵衛の銅像原型	1点
【梁川剛一氏寄贈・東京都中野区東中野4-20-8】	
茶 碗 (銘函館監獄)	1点
【出村勝彦氏寄贈・函館市花園町42-11】	
銀屏風他 2 点	3点
【浜坂孝作氏寄贈・函館市万代町9-19】	
足踏ミシン他 5 点	6点
【高井武夫氏寄贈・函館市船見町4-13】	
矢 立	1点
【多胡哲夫氏寄贈・函館市桔梗町359-120】	
背負い畚	2点
【宗原幸一氏寄贈・函館市宝来町34-4】	
携帯気圧計他 1 点	2点
【佐藤ツメ氏寄贈・函館市弁天町10-4】	
御櫃他 1 点	2点
【吉川静枝氏寄贈・函館市元町3-13】	
竿はかり他 1 点	2点
【米里伝一氏寄贈・函館市元町3-13】	
高松凌雲遺品	23点
【高松あい氏寄贈・東京都北区十条仲原4-10-10】	
看 板 (銘日露漁業貿易) 他 9 点	10点
【富崎善雄氏寄贈・函館市本町5-10】	

入 館 者 統 計

昭和52年度平常展示 (52.1.1~53.12.31)

月別	館別 区分	本 館			分 館			資 料 館			総 計
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	
1	大人	138	10	148	337	14	351	226	0	226	725
	小人	174	0	174	143	0	143	75	0	75	392
	計	312	10	322	480	14	494	301	0	301	1,117
2	大人	259	0	259	435	55	490	299	0	299	1,048
	小人	490	0	490	269	0	269	123	0	123	882
	計	749	0	749	704	55	759	422	0	422	1,930
3	大人	308	13	321	1,219	57	1,276	367	0	367	1,964
	小人	496	0	496	540	10	550	286	0	286	1,332
	計	804	13	817	1,759	67	1,826	653	0	653	3,296
累 計		9,274	584	9,858	61,188	24,207	85,395	8,509	811	9,320	104,573

昭和53年度平常展示 (53.4.1~53.11.30)

月別	館別 区分	本 館			分 館			資 料 館			総 計
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	
4	大人	239	0	239	1,701	150	1,851	321	0	321	2,411
	小人	289	0	289	358	70	428	157	0	157	874
	計	528	0	528	2,059	220	2,279	478	0	478	3,285
5	大人				7,293	408	7,701	571	0	571	8,272
	小人				2,908	6,499	9,407	163	23	186	9,593
	計				10,201	6,907	17,108	734	23	757	17,865
6	大人				5,922	2,823	8,745	604	102	706	9,451
	小人				1,326	4,087	5,413	169	132	301	5,714
	計				7,248	6,910	14,158	773	234	1,007	15,165
7	大人	531	282	813	2,642	1,402	4,044	766	19	785	5,642
	小人	459	163	622	260	615	875	546	374	920	2,417
	計	990	445	1,435	2,902	2,017	4,919	1,312	393	1,705	8,059
8	大人	1,639	18	1,657	490	40	530	1,301	13	1,314	3,501
	小人	1,384	29	1,413	181	14	195	1,402	24	1,426	3,034
	計	3,023	47	3,070	671	54	725	2,703	37	2,740	6,535
9	大人	845	67	912	6,295	1,707	8,002	774	50	824	9,738
	小人	463	791	1,254	1,175	1,408	2,583	369	36	405	4,242
	計	1,308	858	2,166	7,470	3,115	10,585	1,143	86	1,229	13,980
10	大人	189	68	257	1,553	491	2,044	209	2	211	2,512
	小人	150	43	193	66	60	126	48	16	64	383
	計	339	111	450	1,619	551	2,170	257	18	275	2,895
11	大人	446	25	471	1,711	192	1,903	397	20	417	2,791
	小人	379	17	396	211	116	327	118	50	168	891
	計	825	42	867	1,922	308	2,230	515	70	585	3,682
累 計		7,013	1,503	8,516	34,092	20,082	54,174	7,915	861	8,776	71,466

昭和53年度特別展

(本館) 5/1~6/30

	個 人	団 体	計
大人	4,796	1,585	6,381
小人	1,410	20,547	21,957
計	6,206	22,132	28,338

(分館) 7/25~8/18

	個 人	団 体	計
大人	12,839	748	13,587
小人	3,485	46	3,531
計	16,324	794	17,118

— あとがき —

※今月号から№18までの2回郷土資料館に展示されている資料を第1頁に紹介します。№17は「舶来ストーブ」(森川)、次号は「日露漁業貿易などの看板」の予定です。

Hakodate City Museum News
SARANIP—サラニップ—№17 1979.1.15発行
編集・発行 市立函館博物館 (TEL 0138-23-5480)
北海道函館市青柳町・函館公園内 (〒040)